

女性活躍推進会議(女性活躍推進事業)【芦屋市】

個別事業費	65 千円
交付金額	32 千円

地域の実情と課題

本市の総人口は減少傾向であり、年少人口(0～14歳)は年々減少し、令和4年3月末では人口の約12.1%となっている。本市では、社会環境の変化に応じた就学前教育・保育施設の整備や子どもたちが放課後などを安全・安心に過ごせる居場所づくりなど仕事と子育てを両立できる環境整備を進めているが、令和3年実施の芦屋市男女共同参画に関する市民意識調査により、希望に応じた働き方の実現や、能力が十分に発揮できる環境の整備が課題であることがわかった。

目的・目標

女性活躍推進会議では、より効果的な事業実施に向けてのご意見・提案等をいただくことができた。また、活躍を願う女性を支援するための講座等の開催を、委員を構成する多様な主体と連携して、実施することができた。会議開催回数は1回であったが、委員それぞれの立場からの有用な意見聴取ができた。

事業の特徴

事業効果の検証や課題の整理、第3次芦屋市女性活躍推進計画策定時の女性活躍推進事業に関する意見聴取により、女性活躍推進会議の開催が参画する委員やその所属する団体を通じて地域全体の女性活躍推進の気運を高めることにつながっている。また、推進会議から地域に向け、芦屋市では職業生活だけでなく地域活動などあらゆる場面での女性活躍を支援するという周知・啓発に努めた。

連携団体

会議構成員：芦屋市商工会、日本政策金融公庫、市内女性活躍推進企業、市民活動を支援するNPO法人、PTA協議会、父親支援事業を行うNPO法人、西宮公共職業安定所(ハローワーク西宮)、県立男女共同参画センターからのそれぞれの代表、学識経験者、市内女性起業家、産業カウンセラー(キャリアコンサルタント)、働き方改革担当の市職員

事業の効果

令和4年度事業の検証や課題の整理により、令和5年度以降の事業計画等の参考になった。
第3次芦屋市女性活躍推進計画の進行管理では、女性活躍推進事業に関する多くの率直な意見を聴取し、活かすことができた。

今後の課題

事業実績報告と事業計画の検証や課題の整理だけでは、ない女性活躍推進会議の有効的な活用方法を考える必要がある。

事業の概要

